

病院・在宅医療・介護の連携の取組状況・課題等について（市町村アンケート）

資料 2 別紙 2

設問	1 貴自治体において実施している病院・在宅医療・介護連携の取組・事業の概要	2 病院・在宅医療・介護連携の取組・事業に係る、 (1) 貴自治体の受け止め (2) 貴自治体としての課題、 (3) 市町村議会や地域の医療・介護関係団体からの意見・要望等
川崎市	<p>国の「在宅医療・介護連携推進事業」（介護保険の地域支援事業）として、川崎市医師会へ委託し、次の事業を実施している。</p> <p>①地域の医療・介護関係者等が参画する会議として「川崎市在宅療養推進協議会」を開催。また、各区においても「地区在宅療養推進協議会」を開催し、区単位で協議を実施。さらに、医療的助言等を行う「在宅療養調整医師」を配置している。</p> <p>②在宅医療・介護連携に関する相談窓口を「川崎市総合リハビリテーション推進センター」へ設置</p> <p>③医療・介護関係者向け研修を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療介護関係の多職種を対象とした「在宅チーム医療を担う地域リーダー研修」を開催 ・入退院支援関係者を対象とした「入退院支援研修」を開催 <p>①②関連URL https://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000063515.html</p> <p>①②③関連資料 別添</p>	<p>(1)連携状況の受け止め</p> <p>○在宅医療・介護関係者との間で、診療・看護・処方に関する情報が共有できるようになっている</p> <p>○各病院において退院支援の仕組みや体制が整えられてきている</p> <p>(2)課題</p> <p>○かかりつけ医・病院・在宅医等の間で、本人の希望や生活に関する情報を共有できるようにすること</p> <p>○ケアプランや介護サービスに医療・看護・リハビリテーションの視点や知見を的確に取り入れること</p> <p>○本人・家族の理解や自宅での生活環境が整わないまま退院してしまうことで、短期間で再入院となってしまうこと</p> <p>(3)議会や関係団体の意見・要望</p> <p>○在宅医とかかりつけ医・病院の連携・コミュニケーション（特に市外の在宅医）</p> <p>○急変時の在宅と病院・消防の連携・コミュニケーション（心肺蘇生の中止、不搬送等の対応）</p> <p>○介護施設や有料老人ホームにおける看取り・ACPの体制整備</p>